

セミナー・アドバンス生命理学特論

多種共存の森 —その仕組みとめぐみ—



清和 研二 先生

東北大学大学院農学研究科教授
資源生物科学専攻・植物生産科学講座
生物共生科学分野

2018年12月7日（金）16:00～17:30
理学部E館 E131号室

本セミナーでは、森林の種多様性創出メカニズムについて東北のブナ林を例に紹介する。特に一本の樹木の近傍で起きる樹木と種子散布者・病原菌・菌根菌などとの相互作用から説明する。さらに、種多様性の回復が水質浄化機能の回復に大きく寄与することを、スギ人工林に広葉樹を導入した試験地の長期モニタリング結果から紹介する。日本の森林は木材生産の効率化を目指し単純化されてきたが、森林の遷移の方向性（多様性創出）や生態系機能の高度化を考慮すると、種多様性の復元が根本的な森林再生・持続的な木材生産に必要なだと考えられる。

「多種共存の森 1000年続く森と林業の恵み」築地書館 2013年
「樹は語る 芽生え・熊棚・空飛ぶ果実」築地書館 2015年
「樹と暮らす 家具と森林生態」築地書館 2017年

連絡先 杉田 護（内線 3080）